

名称 ICES (International Council for the Exploration of the Sea)

日本語名 国際海洋開発会議

親機関 ---

住所 Palaegade 2-4, DK-1261 Copenhagen K

国名 DENMARK

電話 33-15-42-25

ファックス 33-93-42-15

1. タイプ：政府間海洋学術機関

2. 地理的範囲：北大西洋諸国

3. 目的：

ICESは、世界で最も古い海洋及び水産学の政府間機関である。コペンハーゲンに1902年に設立されて以来、情報交換と17メンバー国内の科学者による海洋研究の促進と協力のため、海洋と生物資源の先導的な科学フォーラムとして機能してきた。主要な機能は、

- (1) 海洋研究の促進、奨励、開発と協力
- (2) 研究成果の出版と普及
- (3) メンバー国政府と規制委員会に対する科学的助言

ICESの業務は漁業、海洋学、海洋汚染と広範な領域に関連している。メンバー国のニーズのみでなく、北海、バルト海など北大西洋の漁業資源の効率的利用のための規制や汚染の悪影響から海洋環境を保全することである。

ICESはまた、海洋生物学的研究、海洋生物の物理、化学的環境特性、魚介類の生物学、生態学、動態、海洋環境の汚染、漁獲方法、海洋動物研究と養殖等にも係わっている。

4. データ管理

(1) 廃棄物の影響研究

1960年半ば以降、海洋汚染に対する関心が高まり、廃棄物の影響がICESの重要な研究となって以来、人間活動の海洋環境への影響を理解するために国際的な研究を企画・調整してきた。魚介類、海水、底泥の汚染物質濃度の観測データセンター（特に北東大西洋）としての機能をもつ。ICESは観測データを解釈する統計的分析法を開発するプロジェクトを調整している。ICESによって調整されている汚染研究は、海洋環境の人間への影響を理解するといった明らかな目標がある。これらの研究は海洋汚染の助言委員会（Advisory Committee on Marine Pollution）の活動の基盤を形成している。

(2) 海洋学の活動

海洋波浪、塩分、水温の研究は重要な役割を果たす。2つの重要なプロジェクトとして、PEX86（パッチ実験）24実験船舶を含む（1986年）、SKAGEX-90（Skagerrak 実験）17実験船舶（1990年）がある。

(3) データベース

海洋研究のICES計画は、メンバー国によって提供される20世紀初頭までさかのぼる海洋データの大規模なデータバンクによって支えられている。データバンクは、ICES地域で過去25年間に実施された11000日以上の研究的な航行の目録により補完されている。この目録は物理海洋、生物、汚染、漁業と地球物理的な各種の海洋データの利用可能性の詳細を含んでいる。

5. 協力関係： ———

6. 参考文献

ICES, バンフレット

7. その他

計画の予算は15百万DKK（デンマーククローネ）で、収入の約80%はデンマーク政府から得ており、残りはICESが助言を行っている国際的な規制委員会から得ている。